

研修テーマ	スケッチによる樹木の表現方法	参加者	埼玉支部 26名 他県支部 4名
講師	石井修二氏(樹木医)	場所	Withyou さいたま 視聴覚セミナー室
資料	「スケッチによる樹木の表現方法」 P-point 資料	記録	田窪隆彦
目的	診断・治療において樹木の状態を適切に説明するためには、解りやすい表現による図が必要となります。その際、図(スケッチ)を描く基本的な手法や技術等を知っていれば、相手にも伝わりやすく、理解も得やすくなります。今回の研修では、解りやすい図にするための手法等を勉強するとともに、実際にスケッチを行い、今後の診断・治療の説明に役立てることを目的とする。		

研修内容

(第1部) 座学

① スケッチの基本

専門用語、描画材の説明から始まり、スケッチを行う時の鉛筆の削り方、持ち方、表現(線と面)方法、グラデーション、遠近法などについての解説。

② 樹木スケッチの手順

診断書・報告書に添付する樹木スケッチの描画テクニックについて、構図、輪郭、細部描写の順にその要点解説。また、時間的制約がある中、場合により写真撮影と併用して内業により描画を進めて行く必要性も講じられた。



石井講師



講義風景



講義風景(樹木スケッチの手順)

(第2部) 実技

第1部で学んだスケッチの手法により、実際に現場に出て各自時間を区切って描画し、その場で講師による助言を得た。限られた時間の中で対象樹木の構図の取り方、特徴の表現など、日頃あまりスケッチに縁のない多くの参加者には時間配分が難しい様子が窺えた。



実技(スケッチ)風景



実技(スケッチ)風景

最後に質疑応答時間が設けられ、多岐にわたる質疑応答が活発に行われた。